

第1回アンダー39まちづくり会議まとめ

■三芳町の良い点と悪い点

《良い点》

○緑が多い

緑が多いところ。自然が豊か。
車で走っているだけでも癒されると思う。

○都心に近くて便利である

緑が多く都心に近いところが良い。
都心に近いので、遊びや通勤に便利が良い。

○人と人とのつながりが強い

人と人の関わりが深いと思う。役場で地元を回っていると、1日に1回は知り合いと会う。地元の方同士で仲が良いと思う。

人のつながりが強いところ。

人との交流が多く近所付き合いが盛んな点である。

○行政の対応がよい、役場がきれいである

行政の対応が良い。他の市町村と比べると良いと思う。
人口が少ないのでその分施策が行き届きやすかったり、身近なサービスがしやすいと思う。

役場がきれいな点が良い。

○農業が盛んである

農業が盛んなところが良い点である。

○ステキな人が多い

ステキだなと思える人が多いところが良い。尊敬できる人が多いと思う。

○ポテンシャルを秘めている

開発が進んでいないところが良い。物流の交通がやり方によってはポテンシャルがあると思う。

スマートインターチェンジなど少しずつ変わろうとしている点に可能性を感じる。

○施設が利用しやすい、店舗が多い

コピスでのイベントが多いこと。

ラーメン屋が多いこと。

地域性が強い。藤久保は保育園もスーパーもあるので住みやすいと思う。

総合体育館なども利用しやすい。

学校、商業施設が自転車圏内

○祭りが盛り上がっている

みよし祭りが盛り上がっている点は良いと思う。

○静かなところが良い

静かである。

《悪い点》

○公共交通が不便である

駅がない。

交通の便が悪いと思う。

バスの便が分かりにくい。訪れた人が迷っている。駅まで迎えにいかないといけないので面倒である。

市内循環型バスがあると良いと思う。

バスが10時を超えると来ない。結局1家に1台車が必要なところ。

自転車を使うことが多いが、雨の日はバスを使うがバスの本数が少ないので困っている。

外部から訪れる人にとってやさしくないと思う。

東西を結ぶ便がない。

歩道が整備されておらず散歩しづらい。

細い道をトラックが通り危ないと思う場所がある。

道路が悪いからお年寄りが外に出づらい

街灯を増やしてほしい

○まちの良さが伝わっていない

まちの利点や強みを知らない人が多い。町から伝えようという時に特定の人に載せるか、広報、HPに載せるしかないが、夫にまちの良さを聞くと「良くも悪くも三芳の良さは分からない」という。住んでいる人が誇りに思えるまちになってくれると良いと思う。

地域によって特徴が強すぎる。まち全体としての方向性があるならカラーを出しにくいと思った。

シンボルがない。皆が住みたいと思えるシンボルがあればと思う。

○子育て環境がよくない

子どもの遊べる公園がない。

保育園がない。

○娯楽が少ない

娯楽が少ない。

■ 住み続けたい町にするために

○ 企業と連携して巡回バスを設けてはどうか

まちの良さを活かしつつ悪い点を解消していくことだと思う。悪い点でたくさん出ている交通の便については、朝のみずほ台や鶴瀬の駅は企業の人がたくさんバスを待っている。これは、企業と連携してまちにある事業所を巡回するバスを用意すれば良いと思う。

三芳町は埼玉県でもトップで昼間人口が多いところらしい。三芳町に通勤してくる人が多いということだと思う。企業と提携すれば、コストをかけずに巡回バスができるのではないかな。

地元に住んでいる者としては、1家に1台車を持っているので、通勤される方の苦労が分かって新鮮である。確かに、高校生や電車で通学する人にとっては大変だろう。

○ 単身者にとっては住みやすい場所ではない

三芳町で生まれ育っているが、今は三芳町に住まないで三芳町で働くという人が多いのは、単身者用の家が少ないのが一つ理由かと思う。駅に近い生活をしたいという気持ちもある。

○ 保育園がないのは、これから三芳町に住む人にとってはマイナス

現在3世代で住んでおり、代々続いている者としては、保育園に預けなくてもよい環境にいる。保育園がないという点は、これから三芳町に住む方にとってはマイナスだと思った。

○ 三芳町に戻ってこない人も多い

通勤・通学で三芳町を離れても三芳町に戻ってこないとお年寄りばかりになってしまう。地域防災という面でもこれは弱くなる。隣に誰が住んでいるのかわからないという状況が上富地区である。

○ 藤久保地区は子育てがしやすい

藤久保地区は子育てがしやすいと思う。パパ・ママの交流などのイベントも行っているので助かる。ママ友が地域の中でできるのは助かっている。

○ 外から遊びに来る人は少ない

子どもと遊びに行くとなると外へ行くことが多い。外から三芳町に遊びに来る人は少ないと思う。

この変だと池袋や川越がおしゃれだと思う。

○ とびぬけた特色がほしい

何かとびぬけた特色を作る(子育て支援日本一など)

○ 働く場所の確保

町の企業と連携して若者の働く場所を確保

○ その他

ふるさと納税に力を入れる。

《まちをPRする作戦としては何が考えられるか》

ネタがあるといろいろできると思う。仕事(イラストや漫画制作)のつながりで言うと、川越市では川越市の妖怪伝説を漫画にしている。観光客がその伝説巡りができるようなことをやっている。

三芳を盛り上げることができる特徴やネタとしては、おまんじゅうなどか。その作っているところの見学ツアーなど。

コピス三芳のイベントが盛んである。もっとイベント等を伝えられる媒体があると良いと思う。

情報発信のときにみらいくんをもっと押し出してはどうか。

農業はPRになると思う。以前さいたま市に勤めていた時は、農協に出しているのはお年寄りばかりだった。三芳町は若い農家の方が多くいて活発なので、売りになると思う。他の地域にはない強みだと思う。

《デマンド交通に登録した人》

全員存在を知らなかった。

みんな車を持っているのでいらないという人がほとんど。

■若者が活躍できるような町にするため

○大学、農業、商店街と企業の連携

現在、淑徳大学の生徒と一緒に商店街の写真を撮ってPRのための加工をするという取り組みを行っている。学生にとっては、写真を撮ってネットに載せたり、動画の編集作業の勉強にもなる。大学がまちに貢献する一環として、授業でこのようなことに力を入れるのは良いと思う。

農業でも若い力がほしいところだが、現状では大学との連携はない。商店街との連携もない。

○若者が参加しやすいことがあると良い

みよし祭りは地域への愛着を育てるものだと思っている。花火も色々なところから見ることができるし、祭りも和気あいあいとしているので、毎年参加して面白いと思うし、続けてほしい。若者が活躍する場、若者が参加できるイベントがあると良いと思う。

参加しやすいようなイベントがあると良い。

楽しく参加できるものがあると良い。

地元の人には中学・高校でのつながりが強いと思うが、大人になってからつながりが持てない人がいるので、そういう人が参加しやすいものがあると良いと思う。

○まちに溶け込めるようにするためには何が必要か

何があればつながるのだろうか。三芳町は好きなので何かしたいと思う。

イメージになるが、行政が何かしてあげてしまうと上手くいかないことが多い。逆に、若者がこうしてほしいということに対応した制度を作っていくと良いと思う。その仕組みづくりが必要だろう。

若者がやりたいことをやらせてあげたい。例えば、歩行者天国をつかって芸術家がイベントを開催できるようにしたり、そういったイベントを手伝ったりするなど。

若者は発信したいことはたくさんあると思う。発信できる場所を作ってあげれば良いと思う。

《参加してくださいと呼びかけても参加しない点はどうするか》

みよし祭りでは、参加してくださいと呼びかけるとキッズダンスが多い。バンドなどからは残念ながら参加申請がない状況。

そもそも参加してよいものかどうかも分かっていないのではないか。ステージを皆で取り合う感じにならないと盛り上がらないだろう。

○若者からの提言がないといけない

このような会議で集まることがほとんどない。若者から町長に向けてこうしていきたいという提言を持っていけるまでにならないといけないと思う。町がこれだけやりました、どうですか、というのではだめだろう。我々から発信していかないといけないと思う。

○パパネットワークはある程度は必要

子ども幼稚園に行くようになるとママ同士のつながりはあるが、パパは分からない。親子での参加型は面倒だと思ってしまい、なかなか踏み込めないところ。子どもが風邪を引いた時は自分も休むことが多い。地域で見てくれる人がいれば良いと思うが、病児保育などの取り組みはされていない。困った時の地域の情報やコミュニティがないので、どうすることもできない。パパネットワークは苦手だが、ある程度ないとだめだろうとも思う。そういう意味では自治会活動などには参加しないといけないなと思っている。

○20～30代が参加できるものが少ない

幼児や小学生、中学生と高齢者が参加できる行事が多く、我々世代が参加できるものが少ないと思う。三芳町が今どういう状況なのかわからない人が多いと思う。

○その他

町民税を下げて、もっと住宅を増やし、住民を増やす。

《町のHPは見るか》

必要がないと見ない。
困った時にしか見ない。